

獲利増進の多めに闘争して今日の基礎を築き、至つて多か四圍の諸勢力
り組合の諸機関を合議制とし、その政治闘争を自由問題として、
然し乍ら吾等は現下の諸状態に鑑み、將來我が陣營を強化し、日露闘争を
初果的に發展せしめる為め、過去の制度の不適を認め、茲に改革と同時に
政治的には無産政党を支持して階級闘争を前進せんとすべし、
吾等はかゝりて以部組織を確立し、常に正確な認識に基づき行動綱領を定
め、外には無産諸団体と聯繫を緊密にし、我が無産階級の課せらるる歴史的使命
を遂行すべし、又の電氣労働者の立場を自覚し、飽く迄階級闘争の精神を勇
敢に發揮して邁進するべし、とある。

極宣言す

昭和五年 五月三十日

東電従業員組合 五五年度大会

綱領

- 一、我等は組合員の協力により生活向上を計し、夫に無産大衆の解放を期す
- 一、我等は公共産業労働者大同團結を計り全國的總聯合を目ざす

二、資本家本位の産業合理化及対の件

産業合理化は國家經濟の改善の爲め緊急必要であるとして、全産業的に
強行してゐる、我が資本家的合理化政策は彼等の利潤を上げ、目的とする
るものであつて、我が結果労働者を失業せしめ、労働搾取を強化し、賃金を低下
し、貧窮と飢餓の泥沼に叩き込めんとする極悪の政策である。
我が東電も合理化の過程にあつて、能率増進と言つて労働を加重し、作業の
整理若くは統一と言つて大量的職首（内外線員）を削減、課税の増徴を行
つて生活を苦境に陥れ、計畫してゐる。
吾々は生活權擁護の爲め飽く迄もかゝる合理化政策に反対するべし、とある。

實行方法一、吾が東電従業員組合が中心となつて全従業員に呼びかけ
職場大會を頻繁に召集し、多数を合理化と失業との關係を徹底させ、大衆の戦
闘意識を盛り上げ、絶対反対の意志を東電資本家に示すこと